



MITA Health Seminar

第13回健康セミナー 『社会的臓器・胃を 切除するということ』

日程：2013年 3月16日(土)

時間：14:00～15:30 (受付：13:00～)

現在、胃癌の切除法には様々な種類があります。最も切除範囲が小さいのは内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)です。胃切除術でも、胃の2/3を切除する幽門側切除術のほか、胃の出口を温存して胃切除をする幽門保存胃切除術、胃の入り口側のみを切除する噴門側胃切除術、胃を全て切除する胃全摘術などがあります。まず、これらの手術を内視鏡や腹腔鏡の動画で紹介したいと思います。

次に、胃切除術後にはどのようなことが起こるのか、お話したいと思います。「消化不良」「ダンプング症候群」「小胃症状」といった症状でグループ分けをして勉強しても、胃切除術後に起こる不都合は、実感がわからないものです。一つ一つの症状が、社会生活の具体的な場面でどのような意味を持つのか、実例を挙げて考えていく必要があります。同じ症状でも社会生活の場面別にみると、対処法が異なります。後半では、社会生活の場面別に対処法を紹介していきたいと思います。

場 所：国際医療福祉大学三田病院 11F 三田ホール

講 師：吉田 昌 医師

【外科・消化器センター 外科部長/
国際医療福祉大学准教授】

定 員：250名

※どなたでも無料でご参加いただけます。

※セミナー終了後、けんこう体操を行います(自由参加)。

■参加ご希望の方は、お電話でお申込みください。

TEL. 03-3451-8123 (総務企画課) *受付時間 月～土曜日 8:30～17:30



吉田 昌 医師



国際医療福祉大学三田病院

〒108-8329 東京都港区三田 1-4-3 TEL. 03-3451-8123